

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成21年8月20日 (2009.8.20)

【公開番号】特開2008-29487(P2008-29487A)
【公開日】平成20年2月14日 (2008.2.14)
【年通号数】公開・登録公報2008-006
【出願番号】特願2006-204711(P2006-204711)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 6 D

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月8日 (2009.7.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域が形成された遊技盤と、

該遊技盤の前面側に設けられ前記遊技領域を視認可能とする窓部と、

該窓部及び前記遊技盤の間の流下空間を流下する遊技球が入球可能な始動口と、

該始動口への入球に基づいて遊技状態が特別遊技状態とされた場合に入球可能とされる

可変入賞装置とを備えた遊技機において、

前記可変入賞装置は、

前記流下空間を流下する遊技球が入球可能な入口と、

該入口から入球した遊技球を幅方向に複数個収容できる空間が形成される収容部と、

該収容部に収容された遊技球を前記遊技盤の裏側へ向けて排出する排出部と、

前記収容部内に設けられ、駆動手段によって、前記収容部に収容された遊技球を前記排出部に向かって誘導する入球姿勢、及び前記収容部に収容された遊技球が前記排出部から排出されることを規制しつつ前記入口から前記流下空間へ向かって排球する排球姿勢に切り替えられる可動体とを備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記窓部側から前記可変入賞装置の入口側へ向かって下る傾斜面を有し、該下り傾斜面によって前記流下空間を流下する遊技球を捕集する捕集部が固設されている請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記可動体は、

前記入口から入球し前記収容部に収容された遊技球が転動する転動面と、

該転動面における前記入口側の一辺に沿って設けられる軸部とを有し、

該軸部によって回動されることによって、前記転動面が前記収容部の奥側に下り傾斜する入球姿勢、及び前記転動面が前記入口側に下り傾斜する排球姿勢に切り替えられることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記可動体の回動端側を押し上げることにより、前記可動体を前記入球姿勢から前記排球姿勢へ向けて回動させる連動部材を備えていることを特徴とする請求項 3 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記連動部材は、突出状態で前記可動体の裏面側を支持し、当該可動体を排球姿勢に維持することを特徴とする請求項 4 に記載の遊技機。